

エレベータ設置交渉は継続中 地下鉄は「是が非でも」と…

江戸川橋駅の地上に出るエレベーター設置工事が中断されて1年近くになろうとしています。3月2日東京地下鉄本社に出向き、経過報告と今後の対応を聞いてきました。

4月1日、その結果も含め、地下鉄本社のエレベーター整備PTの佐藤高副部長が報告にきました。内容は、工事の中断と今後について説明会は開かないが、駅の内外にポスターを掲示して利用者の皆さんにお知らせする。

エレベーターを是が非でも当初の計画場所に設置するために地権者(住友不動産)との協議は続ける。しかし、東京都との道路使用の手続き上で、7月中旬までの予定でいったん工事用の道具類は撤去するが、話し合いが整えば、すぐにでも再開する。

3番出入口の改善必要

また、3番出口の階段は急で狭く、その上地上に出ると雨水が流れ込むのを防ぐ段とガード



住友不動産江戸川橋駅前ビル前

レールがあり、他駅の出入口には例がない使いにくさであり、また、ディーゼルの非常用発電機の点検時には黒いススと悪臭が近隣の方々には大迷惑で、それらも含めて抜本的な改良を検討すべき時がきていると回答。

私もまったく同感で、住民や利用者の意見を取り入れて、早急に具体化し進めてほしいと強く要求しました。

寿会館⇒交流館

初日は“大渋滞”

寿会館が廃止になり4月1日から、「交流館」に。管理も民間会社(指定管理者)となり、使用の申し込み方法も変わりました。



高齢者クラブではない一般の人は、5月1日～31日までの申し込みを4月1日の9時から受け付けました。ある館では対応する人が機械と格闘していて申込者には思いが及ばなかったようで、手続きに一時間半もかかったとのことで、先が思いやられます。今後の対応しだいでは見直しも必要ではないでしょうか。



水道保育園が全室冷房に

新年度の予算で水道保育園のクーラー未設置の部屋にクーラーがつくことになり、全室冷房化となりました。

“暑すぎて食欲がない”状態を解決することができました。

新宿区の「高さ制限」40m地区に なぜ80mマンション強行するのか

新宿区では、3月31日から、区内8割の地域で建築物の「絶対高さ制限」を設け、超高層マンションなどを新築できないようにしました。

近年、マンション建設をめぐって建築主と住民との紛争が頻発することに歯止めをかけようというのが目的です。

施行を前に、荒木町で17階(60m)マンションを計画していた住友不動産は、予定地が40mと制限されたことで、急きょ10階建てのオフィスビルに変更したとのこと。

ところが、文京区に隣接した山吹町では、40m制限(条件付



着工した80mマンション

で60m可)のところに80mのマンション建設です。駆け込みではないと建築主側は主張するのですが、納得がいきません。

そのうえ事前連絡もなく、高さを削減するよう交渉していた建築主の山忠建設の名前が突然消え、建築主も設計者も変わってしまいました。理不尽な、誠意のないやり方は許せません。



日本共産党 前文京区議会議員

いたくら美千代 レポート

文京区水道2-10-9
☎3943-7915

区役所
☎5803-1317 FAX3811-3197
http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/



どんなことでも
お気軽にご相談ください

法律・生活相談

毎週火曜日 午前10時30分～12時
いたくら美千代事務所にて
(水道1丁目)

☎3943-7915(自宅)
事前に電話でご予約下さい。

新大塚公園は存続を



1月5日区年賀会参加者にアピールする方々
(板倉撮影)

区が昨年秋、「区立小・中学校の将来ビジョンの(素案)の骨子」で、五中と七中を統合し新校舎を教育センターと新大塚公園の敷地に建設する計画に対し、地域の方々や少年野球関係者などの怒りの声が燎原の火のように区内に広がり、4月10日「新大塚公園を守る会」の皆さんを中心に集めた署名1万3千筆余と要望書が区に提出されました。

区教育委員会が3月25日と4月6日に開いた説明会では、「公園の廃止など例がない」「今の学校で増改築できないのか」「天下の愚策」など、きびしい意見と批判が続出。

経費は、40～50億円と見込まれていますが、教育センターの解体や公園の整備等の費用は別途とすると、さらに金額は膨らみ、財政がきびしいと言っているのに区民が納得するでしょうか。

新中学校のグラウンドは直線

で100メートルを確保したいとしてきた説明が、4月4日の文教委員会で出された計画図では、70メートル程度しかないことも明らかになりました。許しがたいのは、第1回説明会の1月21日直後の24日に、計画予定敷地の条件整理、法令等の制約などの予備調査業務委託が247万円の予算で発注され、3月に報告書も提出されていることです。

区立小中学校将来ビジョン

学校統廃合計画は区民参画で!

3月29日付の区教育だより「きあら」で、「素案に対するご意見をお聞きし、ご意見を踏まえて将来ビジョンを策定する」と言いながら、区民からこれだけ見直しの声が出ているにも関わらず、自分たちが決めた計画通り進めていこうとするやり方は到底認められません。

協働・協治の理念にたざして

昨年4月1日から施行の文京区自治基本条例「第28条 執行機関は、協働・協治の視点に立って、政策の立案、実施及び評価の各段階において、区民等の参

日本共産党の 申し入れ

(1/24) 抜粋

新大塚公園を学校用地にし、新中学校を平成21年に開校するとして「区立小中学校将来ビジョン(素案)の骨子」は白紙に戻し、あわせてせつかく大きく育ったりっぱな桜をはじめ、40年間、子どもたちを見守った樹木を守り、新大塚公園を残してほしいという住民の声に真摯に応えること。



茗荷谷駅前て訴えるいたくら美千代